



豊かな人生を送るための ヒント見つけた！

くらしネット「福祉」主催

coopくらしのサポートフェア
「自分や親のセカンドライフを考えるつどい」
が開かれました
3月21日 京橋事務所（本部） 参加107名

coopくらしのサポートフェアは、生協の事業や活動で行なっている、パルcoopでのくらしサポートの内容を一堂に集めて、困りごとや不安にお応えできる内容を知る機会として開催しました。

高齢で一人住まいや、夫婦二人のみで暮らしている中で「こんな時どうしたらいいの」「両親が心配」など様々な不安があります。

パルcoopでは、年金・保険・介護・食事・バリアフリー・葬祭など、様々なサポート事業や、くらしのたすけあいの会・いきいき昼食会・サロン・障がい者サポートなどの組合員活動も行なっています。

セカンドライフの安心・安全もぜひ生協で！ご相談ください。

各種お問い合わせは ☎ 0120-409-555
月～金 9:00～22:00 土 9:00～17:00

2017年度 第12回
4月6日

理事会・監事会報告

事業概況(概算) (単位：千円)	3 月 度			累計（4月～2018年3月）		
	実 績	計画比%	前年比%	実 績	計画比%	前年比%
供 給 高	4,371,773	101.0	101.2	57,853,675	99.4	100.1
供給剰余金	1,354,064	101.8	106.8	15,197,652	100.1	101.7
福祉剰余金	3,617	243.9	69.5	55,857	136.2	138.3
事業総剰余金	1,480,740	103.9	106.2	16,673,580	100.3	102.0
事業経費	1,333,263	101.7	120.3	14,518,316	98.2	101.6
事業剰余金	147,476	128.8	51.5	2,155,263	117.1	104.7
経常剰余金	301,299	239.4	83.8	2,505,633	125.3	108.2

〈監事会報告〉2017年度 第12回定例監事会（4月6日）

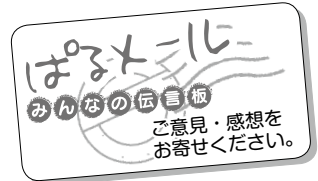
- ① 3月9日監事会以降の監査状況を報告し確認しました。
- ② 専務理事ヒアリング（2017年度決算と2018年度予算について）を実施しました。
- ③ 2017年度監事監査のまとめと2018年監査方針計画について協議しました。

2018年 通常総代会公告

2018年通常総代会を下記の日時、会場、議案で開催します。

2018年4月30日
生活協同組合おおさかパルcoop
理事長 席田 喜代隆
記
【開催日】2018年6月5日（火）午前10時より
【会 場】松下IMPホール（京橋 大阪ビジネスパーク内）
【議 案】
第1号議案 2017年度活動のまとめ、事業報告、
剰余金処分案承認の件
監査報告
第2号議案 2018年度事業計画・収支予算案、
ならびに役員報酬決定の件
第3号議案 商品代金未払い組合員の除名の件
（特別議決議案）

久しぶりに参加したい
大東市 森真美子さん
今年もピースリレーが始まりますね。一度夫婦で参加させていただきましたが、リレーの前のミニコンサートが最高でした。久しぶりに参加したいと思っています。



ハガキまたはeメールで、機関紙はるタイムに対するご意見、住所、氏名（ふりがな）、組合員コードを記入してお送りください。クイズが無い号もどうぞ。掲載した方には図書カードをお送りします。

くらしの公開講座「子どもの貧困問題を考える」②

京橋事務所（本部） 2月5日

2月5日に行われた、くらしの公開講座「子どもの貧困問題を考える」では、子ども食堂を運営しておられる方からも報告いただきました。要旨をご紹介します。



梅原知子さん

認可外保育園を立ち上げて6年、地域の中で親と一緒に繋がりがあつ、目の前の子どもたち・親たちのために、「その時に必要な事をすぐにしよう」という感じでいろいろ要望に応えてきました。2年前くらいに「子どもの貧困」という言葉が世間で出てきたとき、「これって今まで私たちが毎日やってきたことやんな」と子ども食堂をスタートすることに。そうすると、地域の人たちが「先生、私も手伝うわ」とたくさん集まってくれたんですね。自分たちも子どもを持つ親で、「これからの子どもの未来が心配やな」とか「私だってそういう事が起こるかもしれないへん」と他人の事でなく、自分の事のように捉えたお母さんたちが集まって、ボランティアが広がっていききました。

長い目で見て、子どもたちが産まれたこの生命が大人になるまでのプロセスを、地域全体で守っていくことが、子ども食堂の大事な願いです。

枚方市では地域の居場所という事で広がっています。いろんな意味でハードルが低く、「誰でもが来ていいんだよ」というのが基本です。ボランティアの人や輝ける場所とあり、みんなが楽しく関わっていく、それはどうしてかという、（この活動は）先がすぐ長いもので、作ったものを簡単に終わらせてしまうと、子どもたちにとっても無責任なことになってしまいます。

地域全体で子どもを守る
いろんな価値観をみんなに知ってほしいと思い、地域の商店の人たちとも繋がりを持っていました。



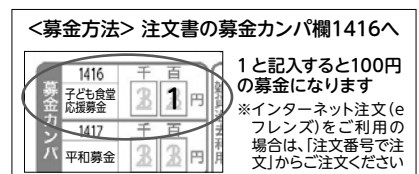
川辺康子さん

「にしなり☆こども食堂」の始まりは、子どもの居場所づくりとして2010年に「あそびの広場」を開設したところからでした。そんな子どもの中に、ちよつと言動の荒い子もいました。その子のことを考えると、「イライラするのはお腹がすいているからなので」と思い、食事提供というか、みんなで参加できる「料理教室」を開くことに（小学生18歳くらいまで対象）。そのうち2012年に、年齢制限も無くだれでも来る事ができる「食堂」にしました。名前も子どもが来るんで「にしなり☆こども食堂」となりました。

にしなり☆こども食堂
川辺康子さんより
（大阪市・西成区）

子ども食堂 応援募金 にご協力をお願いいたします

パルcoopでは、エリア内の子ども食堂を応援する活動を進めています。集まった募金は、子ども食堂の援助費用（配達ガソリン代・高速代など）に活用いたします。



子どもがそうだったのは親の責任やうか。なのに無料はおかしい」という人もいますが、しんどい家庭の親子が週1回そこに来ることを、甘えだとか親は何をしていないんだとか言えないと思います。子どもは「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」があります。その権利が侵害されています。そこをみんなで守っていかなくてはいけないと思います。

「この人になら話したいな」と思える雰囲気
今は子どもをつなぐ場として、こども食堂をやっています。こども食堂＝「子どもの貧困」と言われて数年。でも私は、こども食堂は「居場所」だと思っています。子どもの居場所であり、お母さんやみんなの居場所。そして大事にしているのは「居場所は人だ」ということです。「この人と会いたいな」とか、「この人になら話したいな」と思える雰囲気になるようにしたいと思っています。